

特別支援教育学習指導案

指導者 井上 美由紀

日時 平成 29 年 11 月 18 日 (土) 第 3 校時 (13:15~14:05)
年組 中学校第 1 学年 3 組 計 4 名 (男子 2 名, 女子 2 名)
場所 中学校第 1 学年 3 組教室
単元 折り紙カレンダー ~みんなで素敵な折り紙カレンダーを作ろう~

単元について

本学級の生徒は、4 名とも知的障害を有し、A はダウン症、B は ADHD、D は自閉症を併せもっている。4 人とも自分の思いは言葉で伝えることができる。一方、他者の思いへの関心は薄く、促せば、相手の思いを聞こうとすることはできる。4 月から毎月作成する折り紙カレンダーの学習では、4 人とも折り紙や書いたり貼ったりする活動は好きで、個々の課題は意欲的に取り組めた。一方、他者と合意形成し協力しながら課題を達成しようとする態度は、単元開始時期はあまり見られなかった。毎月一回繰り返すうち、少しずつ他者の言動を気にする様子が見られてきた。

本単元「折り紙カレンダー」は、毎月 4 人で 1 枚の折り紙カレンダーを完成することをゴールとし、話し合って課題を達成していく過程で、自分の意思を表そうとする主体性、他者の思いを理解しようとする多様性、課題に向かって協力してやり遂げようとする協働性を育てることをねらいとしている。また、月毎の行事やその月に因んだ折り紙を折って貼る学習を通し、行事の見通しをもったり、目と手の協応を高めたりできる。役割分担のある活動では、自分の役割を果たせた時の達成感や自尊感情（自己肯定感、自己有用感など）や、他者も役割を果たし協力し合えたことで完成できたという経験により、他者を認め尊重しようという思いを育むことができると考えられる。生徒にとっては、毎月 1 枚作成することを繰り返すことで、授業の流れの見通しがもちやすく、月毎に考えるテーマが異なることで、飽きることなく意欲的に取り組むことができる。そして、前月の活動を振り返り今月の活動に活かしたり、今月の活動を振り返り来月の目標を立てたりでき、「みんなで素敵な折り紙カレンダーを作ろう」という意識をもち続けやすい。

指導にあたっては、「みんなで素敵な折り紙カレンダーを作ろう」という活動目的や学習の流れを視覚的に示し、見通しをもって主体的に課題に取り組めるようにする。また、生徒たちに、1 年 3 組に関わる行事を、月間予定表を見て考えて抽出させたり、自分たちで話し合っつて役割分担させたり、月に因んだ色や折り紙を出し合い選択させたりする等の有効な動機づけを行い、主体性をもって自分の考えを発表したり、多様性をもって他者の考えを受け入れたり、協働性をもって話し合いながら課題解決できるような場面を設定する。生徒が授業の大まかな流れを理解し、見通しをもっている状況で、少しずつ関わり合い方に変化・工夫を加え、興味・関心をもたせながら対応力をつけさせたい。また、三段論法（意見を出し合う→比べる→決める）や、話し合い→実践→振り返りのサイクルの中で、話し合いのスキル（意見の言い方、聞き方、折り合う方法等）を高めていきたい。そして、合意形成し課題遂行することを通し、互いに尊重し合う大切さに気付き、協力してできた成就感を共にもてるように、生徒一人一人の考えを受け入れ肯定的に評価したり、一緒に喜び合ったりする。生徒たちが課題に向けて考え、話し合い、解決できるように適時適切な支援を行い、徐々に支援を減らし、生徒自身が自分たちで素敵な折り紙カレンダーを作り上げたという意識がもてるようにしたい。

指導目標

1. 「みんなで素敵な折り紙カレンダーを作ろう」という意識をもち、関わり合いながら、課題解決に向けて、取り組めるようにする。
2. 自分の思いを相手に伝わるように話し（主体性）、他者の思いを理解し認め（多様性）、話し合う中で合意形成し課題遂行しようとする（協働性）ことができるようにする。

指導計画（全 20 時間）

- 第一次 折り紙カレンダーを作ってみよう（作り方を知ろう）・・・・・・・・・・ 1 時間
 第二次 担当を決めて、折り紙カレンダーを作ろう（役割分担しよう）・・・・・・ 4 時間
 第三次 みんなで素敵な折り紙カレンダーを作ろう（話し合いをしよう）・・・・ 9 時間（本時 9 / 9）
 第四次 みんなで素敵な折り紙カレンダーを作ろう（工夫しよう）・・・・・・ 6 時間

本時の目標

一人一人の意見を出し合いまとめ、協力して折り紙カレンダーを作ろうとすることができる。

本時に関わる、生徒の実態と個別の目標、支援

生徒	本時に関わる実態	個別の目標	目標達成のための支援
A	自分の意思を伝えようと思えるが、問われていないことも付け足し、話すことがある。見通しがもて、達成できると思えた課題では、意欲的に活動できる。	自分の意見を他者に伝わるように話し、他者の意見を聞こうとすることができる。 合意形成した内容や自他の役割を理解し、自分の役割をやり遂げようと思える。	話し方、聞き方のポイントを視覚的に示す。話し合いの場面を増やす。 活動を見守り、必要に応じ内容や役割の確認を促し主体的な活動を褒める。
B	意欲的に活動できるが、指示を最後まで聞けず、衝動的に行動する時がある。自分がしたいという気持ちが強く、友だちと譲り合うことが難しい時がある。	指示を最後まで見聞きしようと思える。 他者の思いを聞き、自分の思いと調整しながら合意形成でき、決定したことを遂行しようと思える。	聞く態度を見守り、必要に応じて言葉掛けをする。 他者理解を促す言葉掛けをし、調整方法を考える場面を作り、前向きな言動があった時に褒める。
C	他者の思いを理解しようとするが、自分の思いを通したい気持ちが強く、言動に出る時がある。自分の役割を理解し、意欲的に活動できる。	自分の思いや考えを他者に伝えるように話したり、他者の思いを認めようと思ったりできる。 合意形成の過程で、最善策を考え、課題遂行しようと思える。	自分の思いを押し通そうとした時には、言動の振り返りをする。 「みんなで」を意識できるような言葉掛けをする。
D	合意形成できるまでに時間がかかると、話し合いに参加しようと思えないことがある。見通しがもてると意欲的に活動でき、進んで自分の役割をやり遂げようと思える。	自分の考えを他者に伝わるように話し、他者の考えを聞き、話し合いに参加しようと思える。 合意形成した内容や自他の役割を理解し、課題遂行しようと思える。	話し方、聞き方のポイントを視覚的に示す。必要に応じポイントを確認する。 活動を見守り、必要に応じ内容や役割の確認を促し主体的な活動を褒める。

学びを豊かにするための手立て

- カレンダーの色を話し合って決めたり，1年3組に関わる行事を月間予定からみんなで探し出した
り，自分たちで役割分担をしたりし，生徒が自ら考えたい課題，考えざるを得ない課題を提供
し，有効な動機づけをする。
- 「私は□□だから，〇〇だと思います。」「〇〇さんは，どう思いますか。」等，自分の意見に根拠を
もって話したり，他者の意見を聴こうとしたりする等の話し合い方のポイントを視覚的に示し，意
識付けをする。
- 関わり合いの中で，生徒の主体性・多様性・協働性が必要となる場面を設定する。
- 既習の内容を活用できる場面を設定する。
- 生徒が授業の大まかな流れを理解し，見通しをもっている状況で，少しずつ「関わり合い方」に変
化・工夫を加える。
- 視覚的支援で見通しをもたせたり理解を促したりし，主体的に学習に向かえるようにする。

学習の展開

	学習活動 (□) と評価 (◆)	指導上の留意点 (・) と支援 (■)
導入 5分	□本時の学習の流れと目標を確認する。 「意見を出し合い，協力して作ろう。」	■本時の学習の流れと目標を掲示し，見 通しをもちやすくする。
展 開 40 分	□カレンダーの色を，根拠をもって意見を出し合 い決める。 ◆根拠をもって自分の意見を伝え，他者の意見を 聞き，色を決めようとしているか。 □1年3組の行事を予定表から協力して探す。 ◆自他の考えを比較し，条件を根拠に適切な行事 を考えようとしているか。 □行事担当を決め，カードを作る。 □日付順に行事カードを貼る。 ◆合意形成したことを理解し，課題遂行しようと しているか。	■話し合いの方法を視覚的に示す。 ・色の根拠を伝えているか確認する。 ■1年3組の行事になる条件を視覚的に 示す。 ・個別で考える時間や4人で考える時間 を設定する。 ・カードが早く書けた生徒は，行事カー ドの配置を考えるよう指示する。 ■「みんなで」作る意識がもてるような 言葉掛けをし，生徒の活動を見守り， 必要に応じて支援する。
ま と め 5 分	□本時の成果物を見合い，感想を発表する。 □目標の振り返りをする。(自己評価，他者評価)	・互いに称賛し合う雰囲気作りをする。 ■発表内容(できたこと，難しかったこ と，次時に頑張りたいこと等)を示し， 進んで発表できるよう促す。 ■取り組んでいた姿を具体的に評価し， 自己肯定感が高まるようにする。

準備物

色画用紙, 掲示物 (本時の学習の流れと目標, 話し合いの方法, 1年3組行事になる条件), 行事予定表, シール, 行事カード, タイマー

座席表

